

ファイルの共有と提出方法について

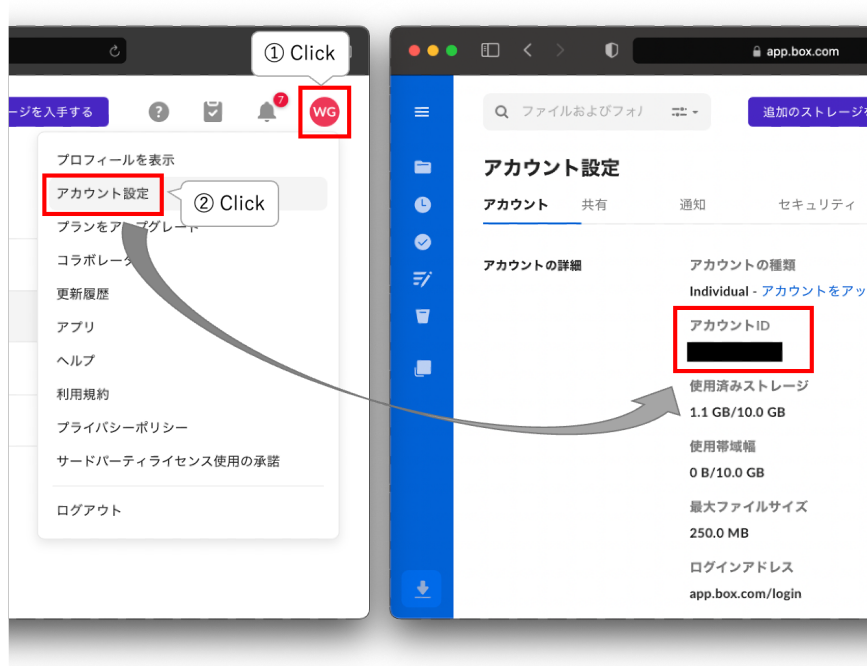
概要とお願い

PWS Cup Working Group（以下、WG と呼びます）と参加チームの間でのデータのやりとりには、クラウドストレージサービス Box を利用します。チームごとに 1 つずつ Box アカウントをご用意（新規に作成しても、既にお持ちのアカウントを用いても OK）いただき、そのアカウントとの間で作成した共有フォルダを用いて、WG からそれぞれのチームへのファイル共有、および各チームから WG へのファイル提出を行います。この共有フォルダは他のチームからは見えず、当該チームと WG のみにアクセスが許可されます。

Box では、共有フォルダを作成して共同作業することを「コラボレーション」と呼びます。WG とのコラボレーションに成功すると、Box の一番上の階層に *PWSCUP2021* で始まるフォルダが作成されます。そのフォルダ内でファイル共有および提出を行います。コラボレーション機能の詳細は、Box 公式ページ等をご参照ください。Box を導入している大学のホームページの解説の方が分かりやすいかもしれません。

つきましては、**Box アカウント名（Box に登録したメールアドレス）とアカウント ID を所属チーム名と共に WG（pwscup2021-info@iwsec.org）までお知らせください**。アカウント ID は、Box 画面右上のユーザーアイコンからアクセスできる「アカウント設定」より確認できます（下図参照）。アカウント数は 1 つで結構ですが、複数アカウントの登録も可能です。ただし同時編集や同時アップロードによる予期せぬ提出ミスにご注意ください。

コラボレーションに用いる Box アカウントは、既存のものでも構いませんし、新規に作成いただいても結構です。新規作成の場合、以下の URL から無料で取得できる Box Individual プラン（<https://account.box.com/signup/personal>）が便利です。

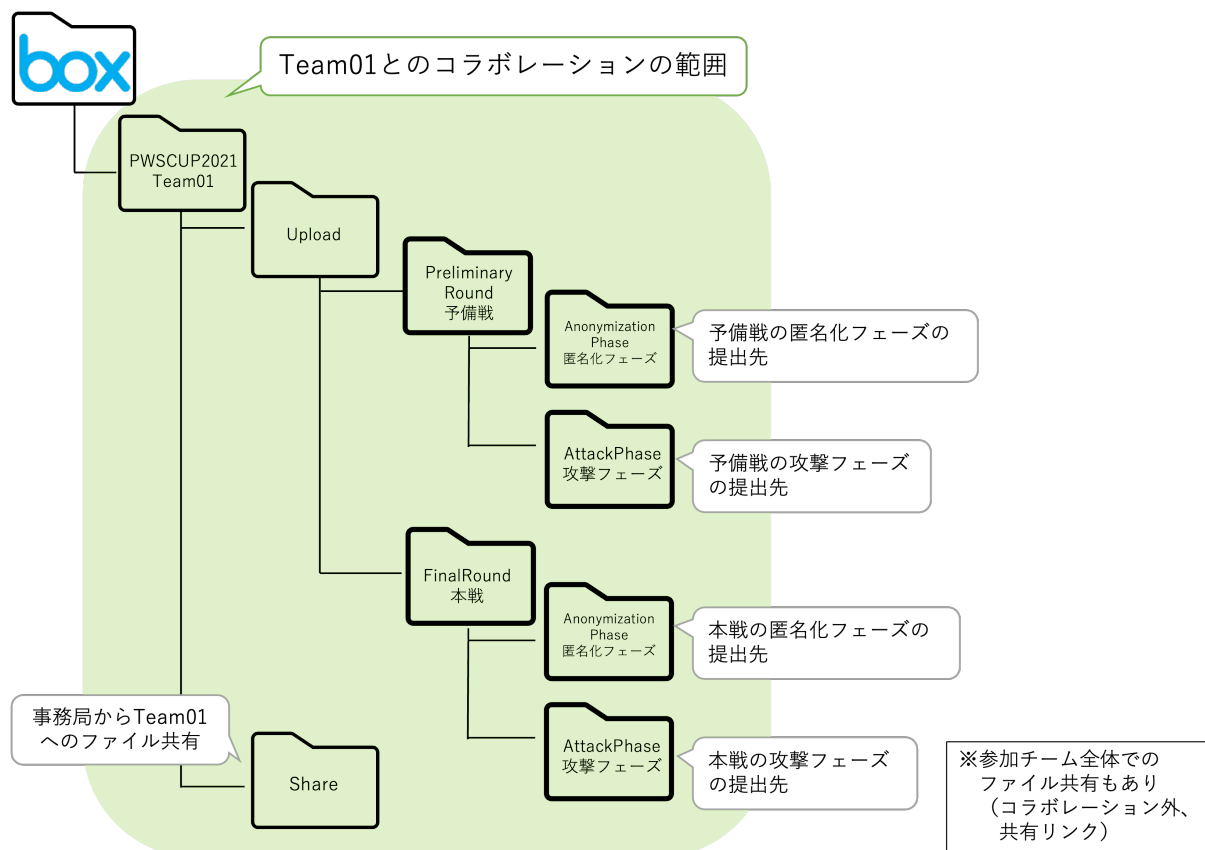


アカウント ID の確認手順

共有ファイルの構造

コラボレーションによって共有するフォルダ（以下、コラボレーションフォルダと呼びます）の構造は以下の通りです。WG から参加チームへのデータ共有（配布）に用いる「Share」フォルダと、参加チームからWG へのファイル提出に用いる「Upload」フォルダが用意されています。「Upload」フォルダは予備戦用「PreliminaryRound」と本戦用「FinalRound」の2つのフォルダに分かれており、それぞれ匿名化フェーズ用「AnonymizationPhase」と攻撃フェーズ用「AttackPhase」に分かれています。例えば予備戦の匿名化フェーズについてファイルを提出する場合、
[Upload / PreliminaryRound / AnonymizationPhase]
と順に進んでファイル提出を行います。

参加チーム全体に WG からファイルを共有する場合にはコラボレーションは用いず、ファイルの場所を示す URL によって共有する予定です。ファイル構造の詳細は下の図をご覧ください。



コラボレーションフォルダの構造

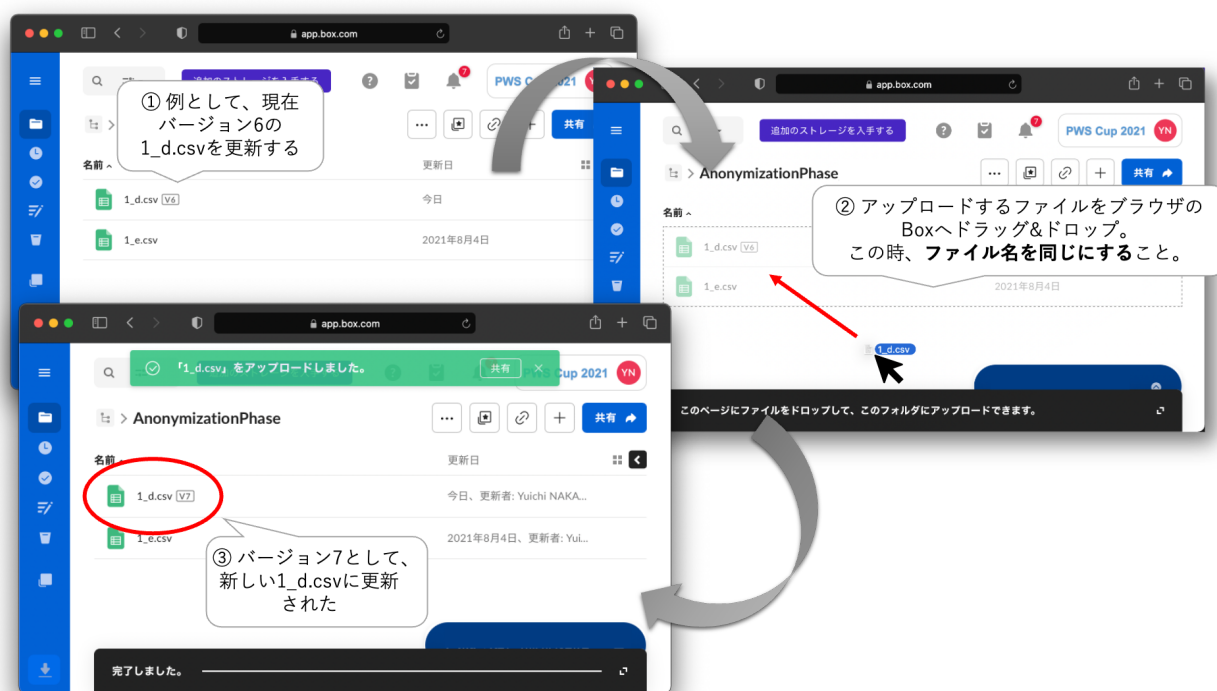
ファイルの提出方法

ファイルの提出には、Web ブラウザを用いる方法が簡便です。ここでは予備戦の匿名化フェーズを例に、提出方法を説明します。

<https://account.box.com/login> から Box にログインし、コラボレーションフォルダより [Upload / PreliminaryRound / AnonymizationPhase] と移動します。

次に、提出するファイルをフォルダの中にドラッグ&ドロップし、当該ファイルをアップロードします。このとき、アップロードするファイルの名前にご注意ください。ファイル名には後述の命名規則を設けておりますので、その規則に従ったファイル名でアップロードして下さい。提出期限内であれば、何回でもアップロード可能です。複数回アップロードする場合でも、ファイル名を変えずにアップロードしてください。当該ファイルがアップロードされたファイルに置き換わります。更新後はファイルバージョンが下図のように更新されますので、アップロード成否の確認にご活用ください。なお、システムの都合で期限後もアップロードが可能ですが、期限内にアップロードされたバージョンのファイルのみコンテストの対象として扱いますので、ご注意ください。

また WG より、フォーマットチェック用のスクリプト（以下、フォーマットチェッカと呼びます）を提供しています。フォーマットチェッカを用い、提出前に各自でフォーマットにミスがないか確認してからアップロードしてください。原則、期限内にアップロードされたファイルのうち、フォーマットチェッカで問題の発見されない最新版を提出版と見做します。



ファイルアップロード手順

命名規則（匿名化フェーズ）

匿名化フェーズでは、加工データ $D^{(i)}$ と、WG から与えられたデータから排除したレコードの行番号リスト $X^{(i)}$ の2つのファイルを提出してください。ファイル名は、以下の命名規則に従ってください。

なおチーム番号は半角で入力し、2ケタとなるよう適宜0埋めして表記してください。

例

チーム番号1の場合: '01' (0埋めして2ケタにして半角表記)

チーム番号10の場合: '10' (元々2ケタなので、そのまま半角表記)

また、予備戦は pre_、本戦は main_と接頭辞をつけてください。

命名規則: 加工データ $D^{(i)}$

{pre|main}_anony_チーム番号_d.csv

例（予備戦、Team01の場合） pre_anony_01_d.csv

命名規則: 排除したレコードの行番号リスト $X^{(i)}$

{pre|main}_anony_チーム番号_x.csv

例（本戦、Team01の場合） main_anony_01_x.csv

命名規則（攻撃フェーズ）

攻撃フェーズでは、他の参加チームが提出した加工データについて、そこに含まれているレコードと含まれていないレコードを推定した行番号リスト $E^{(i,j)}$ を提出してください。提出ファイルの数は、最大で参加チーム数 -1 個となります。チーム番号の表記は匿名化フェーズと同様に半角2ケタでお願いします。また匿名化フェーズと同様、pre_またはmain_の接頭辞をつけてください。こちらの命名規則は以下の通りです。

命名規則: 行番号リスト $E^{(i,j)}$

{pre|main}_attack_攻撃先チーム番号_from_ご自身のチーム番号.csv

例（本戦で Team01 が Team02 を攻撃する場合） main_attack_02_from_01.csv

WG でも確認しますが、円滑なコンテスト進行のために、**提出前のフォーマットチェック**を必ず行ってくださいようお願い申し上げます。

ポイントまとめ

- ファイル提出用の Box アカウントをチームにつき 1 つ用意し、以下の情報を WG へ連絡
 - Box アカウントのメールアドレス
 - Box アカウントのアカウント ID
 - 連絡先 pwscup2021-info@iwsec.org
- Box の共有フォルダからファイルを提出
 - 予備戦と本戦、匿名化フェーズと攻撃フェーズで提出先フォルダが異なることに注意
- 提出するファイルの命名規則

	匿名化フェーズ		攻撃フェーズ
	加工データ $D^{(i)}$	行番号リスト $X^{(i)}$	行番号リスト $E^{(i,j)}$
予備戦	pre_anony_チーム番号_d.csv 例 (Team01 の場合) pre_anony_01_d.csv	pre_anony_チーム番号_x.csv 例 (Team01 の場合) pre_anony_01_x.csv	pre_attack_攻撃先チーム番号_from_自チーム番号.csv 例 (Team01 が Team02 を攻撃する場合) pre_attack_02_from_01.csv
本戦	main_anony_チーム番号_d.csv 例 (Team01 の場合) main_anony_01_d.csv	main_anony_チーム番号_x.csv 例 (Team01 の場合) main_anony_01_x.csv	main_attack_攻撃先チーム番号_from_自チーム番号.csv 例 (Team01 が Team02 を攻撃する場合) main_attack_02_from_01.csv

おわりに

何かご質問などございましたら、下記連絡先までお気軽にご相談ください。

プライバシーワークショップ 2021 実行委員会 PWS Cup 2021 ワーキンググループ
pwscup2021-info@iwsec.org

変更履歴 (最新の変更を赤字で表示しています)

2021/09/13 排除したレコードの行番号リスト $X^{(i)}$ の命名規則を変更

2021/08/23 ルール論文 diabetes.pdf の更新に伴い、提出物の変数名を更新 (命名規則は変わりません)

2021/08/19 「匿名加工フェーズ」を「匿名化フェーズ」に改称

2021/08/18 初版